

関係団体 御中  
関係 各位

全国漁業協同組合連合会  
海と魚と食を考える会  
< 公 印 省 略 >

## 「里としての海を考えるシンポジウム」の開催について(ご案内)

### — 2007年度水産庁委託事業「環境・生態系保全活動支援調査・実証事業」 —

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会事業の運営に際しましては、日頃から格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、水産庁の委託事業である『環境・生態系保全活動支援調査・実証事業』と『海と魚と食を考える会』の共催にて、自然と漁業の関わり、資源・環境保全に果たしてきた漁業・漁村の役割を改めて見つめ直し、海に関心を寄せる人々と協同のあり方を考えていくため、標記の「**里としての海を考えるシンポジウム**」を開催することと致しました。

参加お申し込みにつきましては、別紙「参加申込書」により、**12月28日(金)**までに、FAXにてご連絡頂きます様、お願い申し上げます。

なお、会場の関係から参加人員を先着**150名**様にて打ち切らせて頂きます。

### 記

1. タイトル : 「里としての海を考えるシンポジウム」
2. 開催日時 : 2008年1月19日(土) 13:00~16:00
3. 開催場所 : 虎ノ門パストラル 新館5階ミモザ  
東京都港区4-1-1
4. 実施要領 : 別添の通り
5. 定員 : 150名
6. 参加費 : 無料



### ● 会場アクセス

- ・地下鉄日比谷線 神谷町駅 4b 出口より徒歩 2分
- ・地下鉄 銀座線 虎ノ門駅 2番出口より徒歩 8分

### < 照会先 >

JF 全漁連 漁政・国際部

矢部・吉永・三次・貴家まで

TEL 03-3294-9617

FAX 03-3294-3347

## 2007年度水産庁委託事業「環境・生態系保全活動支援調査・実証事業」

### 里としての海を考えるシンポジウム 実施要領

#### 1. 趣 旨

漁業は、自然の生態系の「恵み」を享受する産業です。このため、適切な資源利用によって、持続的に生産することが求められています。

持続的に漁業活動を行うために、漁協を中心とした地域社会は、資源利用にあたって様々な制約を課して地域の藻場・干潟等の資源を守り、そして資源を育む環境を保全してきました。沿岸域の藻場や干潟という生態系は資源を育む場として保全され、そのことによって様々な公益的機能が人々に提供されてきました。

しかし、漁業就業者の減少と高齢化、漁村社会の混住化、管理を担ってきた漁協の経営悪化という3つの危機にさらされ、わが国の漁業は大きな転機を迎えています。

このシンポジウムでは、自然と漁業の関わり、資源・環境保全に果たしてきた漁業・漁村の役割を改めて見つめなおし、海に関心を寄せる人々との協同のありかたを考えていくことにします。

2. 主 催 全国漁業協同組合連合会

3. 共 催 海と魚と食を考える会

4. 開催日時 平成20年1月19日(土) 13:00~16:00(開場:12:00)

5. 会 場 虎ノ門パストラル 新館5階「ミモザ」  
TEL03-3432-7261

6. 参集範囲 漁業者・全漁連会員・漁協・行政機関・メディア等約150名

#### 7. プログラム

■主催者、水産庁挨拶 13:00~13:10

■基調講演 13:10~14:00

「里海へのメッセージ」 内山 節(哲学者・立教大学大学院教授)

海を生産と営みの場だと考える人々の結び付きを、新しく作りだしていく試み、おそらく問われているのはそのことなのであろう。それは漁民だけのものではないかもしれない。漁村とともに暮らす人々や、永遠の漁業を保証したいと思う都市の人々をふくめて、共有された世界としての海をみつめなおす。そのような試みのなかから、私は新しい協同の世界はつくられていくのだと思う。海をまもる協同的な取り決めや行動、新しい慣習が、ここから生まれていくのだと思う。

■パネルディスカッション 14:10~16:00

「里海から、里海へー自然・ひと・協同を考えるー」

パネリスト 松田 治(広島大学 名誉教授)  
加瀬 和俊(東京大学 社会科学研究所教授)  
金萬 智男(NPO法人 盤州里海の会理事長)  
足利由紀子(NPO法人 水辺に遊ぶ会会長)  
乾 政秀(㈱水土舎 代表取締役)

コーディネーター 市村 隆紀(全漁連漁政・国際部長)

■閉会 16:00

## 参加申込書

J F 全漁連漁政・国際部 大駒行  
( F A X 0 3 - 3 2 9 4 - 3 3 4 7 )

団体名 : \_\_\_\_\_

ご担当名 : \_\_\_\_\_

「里としての海を考えるシンポジウム」の参加申し込みについて  
( 2 0 0 8 年 1 月 1 9 日 ( 土 ) 1 3 : 0 0 ~ 虎ノ門パストラル 5 F ミモザ )

標記シンポジウムに、下記の者が出席致します。

部署名	役職名	氏名

※ 1 2 月 2 8 日 ( 金 ) までにご報告くださいますようお願い申し上げます。

以上